Schick出張授業／渋谷区立加計塚小学校

シック・ジャパン
特別出張授業
2022・9・15実施

# サッコ先生と からだの変化と からだの毛について学ぼう

**高橋幸子先生（サッコ先生）プロフィール**

産婦人科医／埼玉医科大学医療人育成支援センター・地域医学推進センター助教。埼玉医科大学医学教育センター、埼玉医科大学病院産婦人科助教を兼担。年間120回以上、全国の小学校・中学校・高等学校で性教育の講演を行い、その普及や啓発に尽力しています。

## 1時間目の授業 命について からだとこころの成長

「自分のからだやこころの変化に気づくこと、それは恥ずかしいことではなく、とても大切なことです」。こう話す産婦人科医の高橋幸子先生を講師に迎え、東京都渋谷区立加計塚小学校でシック・ジャパン株式会社による特別授業が行われました。授業に参加したのは4年生42人と保護者の方々。みんなで"大切なからだのこと、気になる毛のこと"について学びました。

### 自分らしさって何だろう

「みなさん、こんにちは！」開口一番、元気な声の高橋幸子先生。「埼玉県で産婦人科のお医者さんをしています。サッコ先生と呼んでください。産婦人科は、女の人やおなかの赤ちゃんの命を預かるお医者さんです。今日はみなさんと大切な命のつながり、からだとこころの成長について考えたいと思います」。

体育館のスクリーンには生まれたばかりの赤ちゃんが映し出されました。「この赤ちゃんの性別がわかりますか？」。ここにいるみんなが産婦人科の先生だとしたら、赤ちゃんの左腕に巻かれている青いバンドを見て"男の子"というでしょう。でも、この子が将来、こころが男の子なのか、女の子なのか。男性を好きになるか、女性を好きになるか。それは成長するにつれて、自分で気がついていくんです。少し難しいけれど、性別には4つの側面があります。それは、生まれた時に割り振られた性、こころの性（性自認）、好きになる性（性指向）、そして表現する性です。この4つの組み合わせで、性というのはグラデーションのように分けられるといわれています。

### いのちはどこから生まれてくるの

「人間には"おへそ"があります。でも何のために"おへそ"があるの？」サッコ先生の質問に、児童から「お母さんから栄養をもらうため！」と元気のいい答えが返ってきました。「そうね、お母さんとおなかの赤ちゃんは"へその緒"という管でつながっていて、そこから栄養や酸素をもらっています。とても大切な管です。この管がつながっていた跡がおへそなの。つまり、おへそはあなたがお母さんとつながって、お母さんのおなかにいた証です」。

さらに、サッコ先生から「思春期ってなんだろう？」という問いかけもありました。

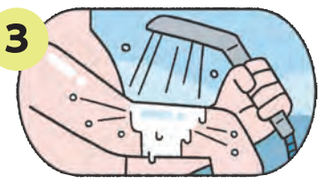
「みなさんはからだとこころが少しずつ成長してきています。その成長を自分のものとして、大切にしてください。でも、不都合なことや困ったことがあったら、周りの大人にSOSを出せば大丈夫です。そのことも覚えておいてくださいね」。

### 使用する道具

今回は、はじめてカミソリを使う方にも安心な、Schickのソープつきカミソリ「イントゥイション」を使用します

カミソリの動きをスムーズにするために、「イントゥイション」の刃とモイスチャーソープをお湯、または水にぬらします。

水にぬれると溶け出すモイスチャーソープが肌にうるおいを与えるので、力はいりません。ぬらした肌をなでるようにやさしくそりましょう。



そり終わったら、肌とカミソリをきれいに洗います。カミソリ本体は水分をしっかりときり、キャップをつけずによく乾かしてください。

### 男の子にはどんなからだの変化がおこる？

### 女の子にはどんなからだの変化がおこる？

## 2時間目の授業 体毛について 自分らしさのはなし

授業の冒頭は、体毛についての「○×クイズ」。クイズをとおして、体毛は約100万～150万本。手のひら、足のうら、くちびるなど、毛がはえない部分があること。そして体毛の役割についても学びました。

### みんなは体毛についてどう思っている？

「みんなは毛のことを話すのが恥ずかしいと思いますか。性教育って、命のつながりについて話すこと、毛について話すこと。恥ずかしい話と思いがちですが、こうやってみんなで考えること、分かり合えることはとてもいいことだと思います」。

「毛が生えてくることはとても自然な成長です。からだの毛にはそれぞれ役割があるということ、みんなで考えてきたよね。これからもからだとこころを大切にしてほしいと思います。それはからだを清潔に保つことでもあります。そして、自分のからだがどう変化していくのかあらかじめ知っておくことは、不安な気持ちも減らすことにもなります」。

### はじめての体毛ケアを擬似体験

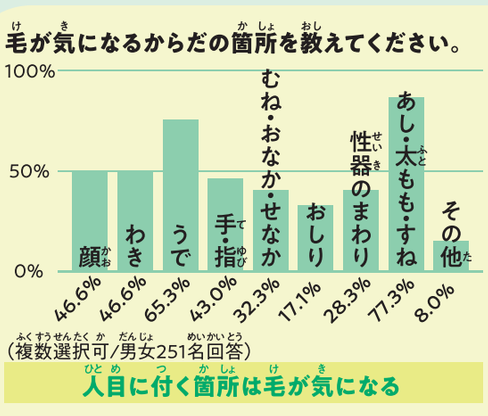
シェービングやスキンケア商品を提供するシック・ジャパンの古川滋子さんから「はじめての体毛ケア」についてのお話をしてもらいました。

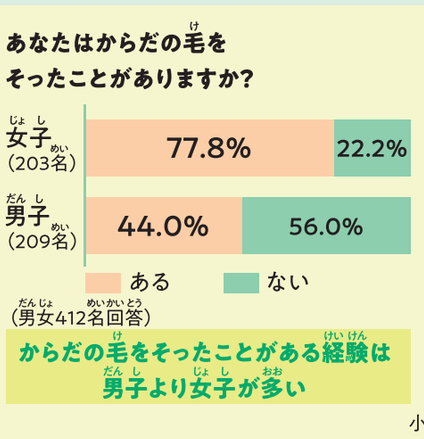
「女の子、男の子、だれの肌にも体毛が生えます。体毛が濃い人、うすい人、見た目にも個人差があります。大切なのは自分らしくあることです。でも、もしも体毛が気になったら、自分でケアすることができます。今日はみんなで体毛ケアについても学んでいきましょう」。

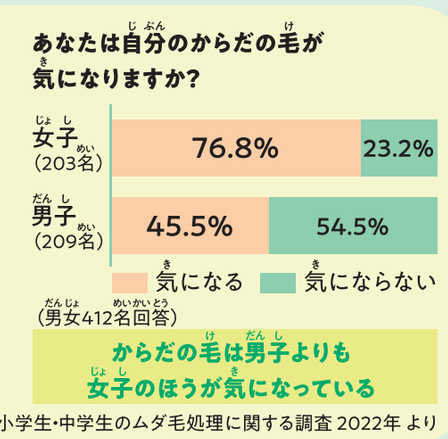
特別に用意された刃がついていないカミソリ「イントゥイション」が児童に配られ、体毛ケアの正しいやり方を教えてもらいました。「このイントゥイションは刃の周りにソープがついています。水やお湯でぬらすとうるおい成分のモイスチャーソープが溶け出すので、カミソリを肌にあてたら、力を入れずに、やさしくなでるようにすべらせてください。一つだけ注意してほしいことは、自分のカミソリを家族や友人と一緒に使ってはいけません。安全のためにこれだけは守ってください」。

刃がないカミソリではじめての体毛ケアに挑戦

みんなはじめてのシェービング体験に真剣な表情です。児童からは、「意外と簡単」「これならできるかも」「色がかわいい」という声が聞こえてきました。




小学生・中学生のムダ毛処理に関する調査 2022年 より

### 自分らしさ 命の重さを感じて

授業の最後は質問コーナー。児童からは「赤ちゃんが生まれるときの痛みはどれぐらい？」「へその緒はどれぐらいでとれるの？」「カミソリは子どもが使ってもいいの？」。質問の一つひとつにサッコ先生と古川さんはわかりやすく答えてくれました。

「今日はサッコ先生にとっても有意義な授業になりました。この世に生まれてきた赤ちゃん、本当に大切な命です。みなさんも命の重さ、隣に座っているお友だちの命の重さを感じてくれたらと思います」。みんなの大きな拍手とともに、授業は終了しました。

**プレゼント** 10/28（金）締切

**今回の出張授業で使われた冊子「じぶんからだガイド」（A4変形・12ページ）と「イントゥイション」を50名様にプレゼント！**

応募はWEBで。
https://www.asagaku.com/schick_japan.html

Schick
It's in your hands®

主催：シック・ジャパン株式会社　協力：朝日学生新聞社

詳しい情報は特設ページへ